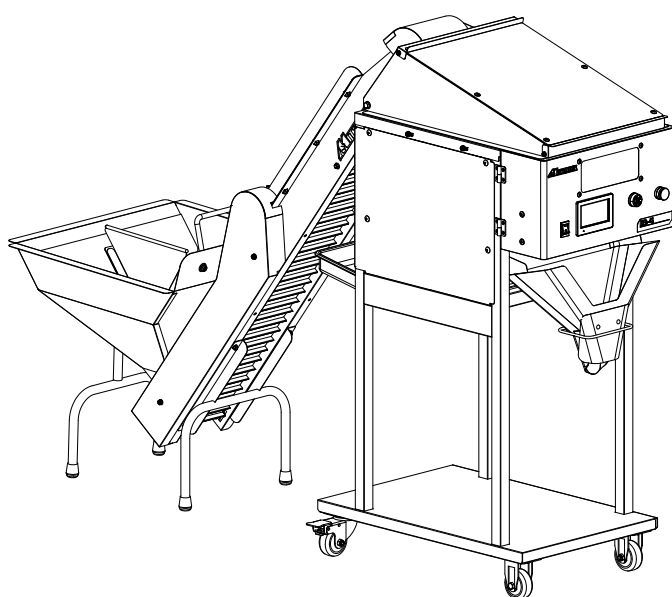


えだまめ定量袋詰機

IB-4

取扱説明書

保証書付



目次

1. 重要なお知らせ	1
2. 製品名称および型式等の表示	1
3. 安全上のご注意	2
3-1 一般的な注意事項	2
3-2 注意ラベルの種類と位置	3
4. 梱包内容	4
5. 機械の主な名称	4
6. 機械の外形寸法	5
7. ご使用になる前に	5
7-1 前準備	5
7-2 機械の組立と設置	6
8. 使用について	9
8-1 えだまめの準備	9
8-2 定量のグラム設定	9
8-4 操作パネルの機能説明	11
9. 日常のお手入れおよび点検	16
9-1 機械の掃除	16
9-2 機械の点検	16
10. 外付け機器について	17
11. 主な部品交換	17
12. 故障かなと思ったら	17
13. 修理について	18
14. 廃棄について	18
15. 仕様	18
保証について	裏表紙



〒959-0112 新潟県燕市熊森 1345
TEL 0256-98-6161 FAX 0256-98-6171
URL <https://kk-mitsuwa.com>
E-mail : mitsuwa@kk-mitsuwa.com

ミツワ ホームページ



Ver.1.02

1. 重要なお知らせ

この度は《えだまめ定量袋詰機 IB-4 》をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、点検およびお手入れについて説明しております。

ご使用前によくお読みいただき十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするため、ご活用ください。

また、お読みになった後、必ず大切に保存し、分からないことがあった時には、取り出してお読みください。

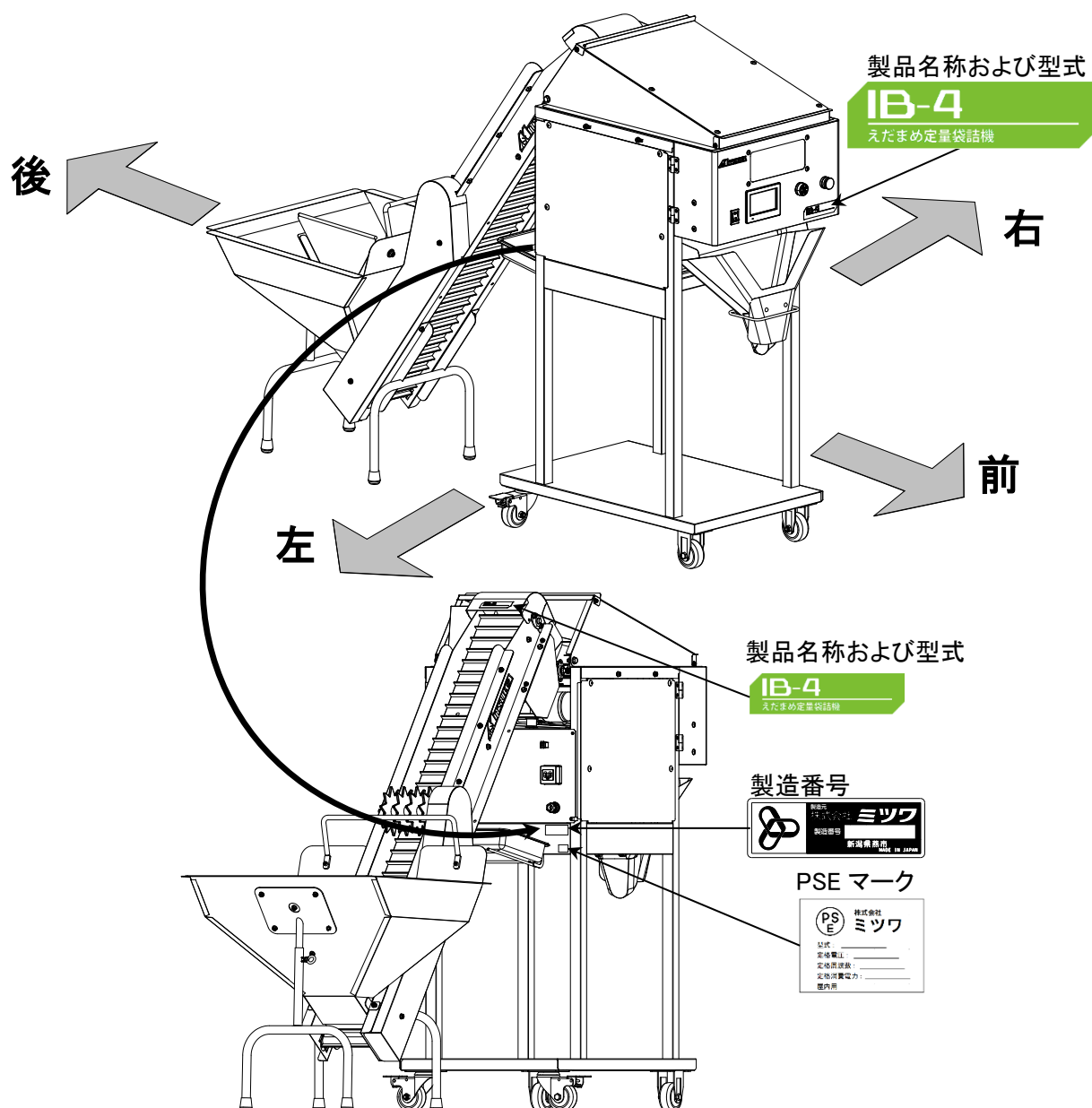
なお、製品ならびに本取扱説明書は、お断りなしに改版することがありますので、ご了承ください。

2. 製品名称および型式等の表示

この機械には「製品名称および型式」と「製造番号」が図示のところに表示してあります。

サービスについてのお問い合わせや、部品などご用命の場合は、「お買い上げの販売店」に「型式」、「製造番号」をお知らせください。

また、この取扱説明書で使用している「前・後・左・右」の用語は、下図のように決めております。



3. 安全上のご注意

本書に記載しました注意事項や機械に貼られた[⚠]の表示があるラベルは、人身への危害または財産への損害を引き起こす可能性が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

表示	意味
 危険	この表示欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示しています。
 警告	この表示欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う、または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	  
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	

3-1 一般的な注意事項

 警告	
	作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保つ。 ・ち暗かった暗い作業場では、思わぬ事故の原因となります。
	使用中は、子供や第三者を作業場に近づけない。 ・機械の動作がわからない子供や第三者が、事故に巻き込まれる可能性があります。
	電源プラグは単相 100V コンセントに単独にて差し込む。 ・たこ足配線や他の機器と併用すると、コンセントが異常発熱して、発火する可能性があります。
	アース線を取付ける。 ・アース線を取付けないと、漏電のとき感電することがあります。
	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。 ・感電の原因となります。
	機械の運転中は回転部に注意して作業を行う。 ・回転部に巻き込まれるとケガの原因になります。

⚠ 警 告



作業に適切でない体調や状態、未成年者は作業をしない。

・作業には的確な判断が必要です。下記状態の方は、本機の運転操作は行わないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ①お酒を飲んでいる方 ②睡眠不足の方 ③妊娠中のご婦人
④過労、病気の方 ⑤機械の取扱いを理解されていない方



作業は、作業に適した服装で行うこと。

・回転部に巻き込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服や、ネックレス、タオル等は着用せず、髪、衣服等は、回転部に近づけないでください。



分解、改造はしない。

・感電の原因や、故障の原因になります。

⚠ 注 意



使用しない場合は、必ず屋内に保管する。保管場所として次の場所は避ける。

・事故のおそれや、故障の原因になります。

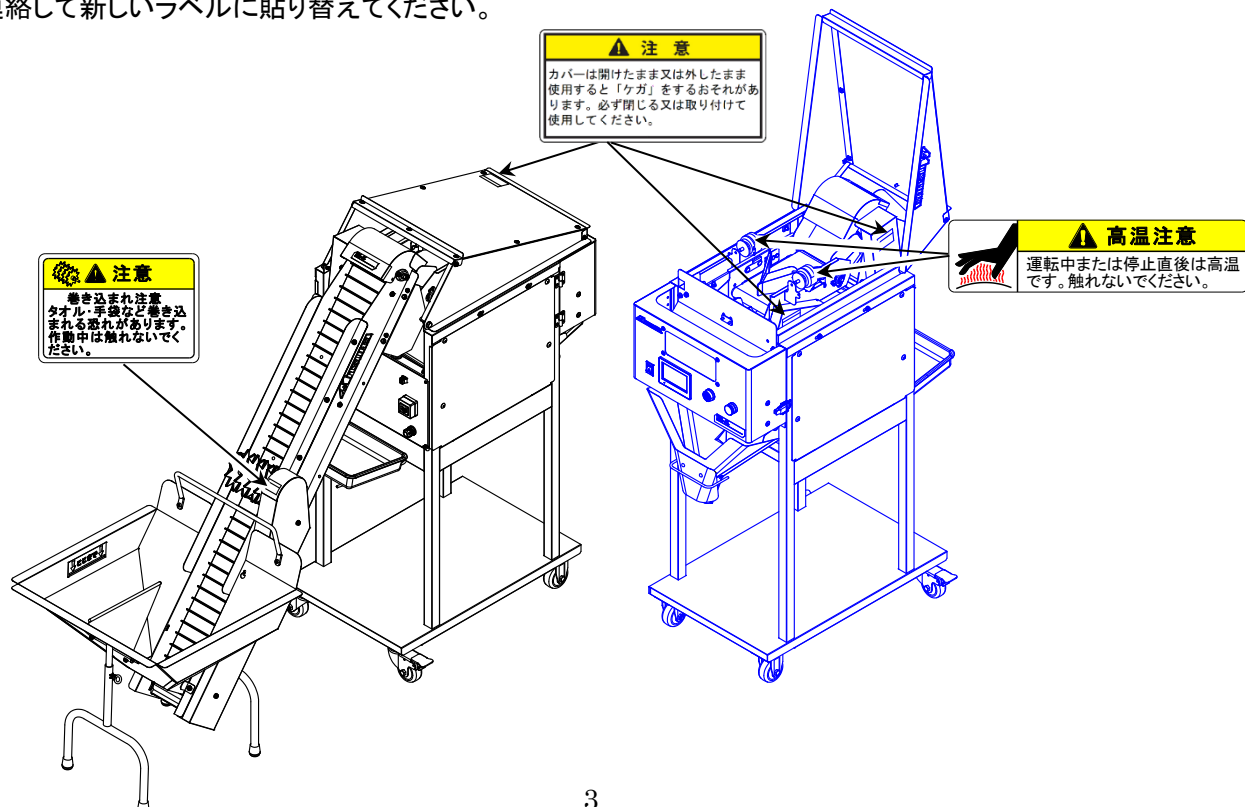
- ① 子供の手が届く所 ②湿気の多い所 ③直射日光の当たる所 ④揮発性物質のある場所

3-2 注意ラベルの種類と位置

以下の注意ラベルは、重要注意事項の中から特に重要なものとして機体に貼付されています。

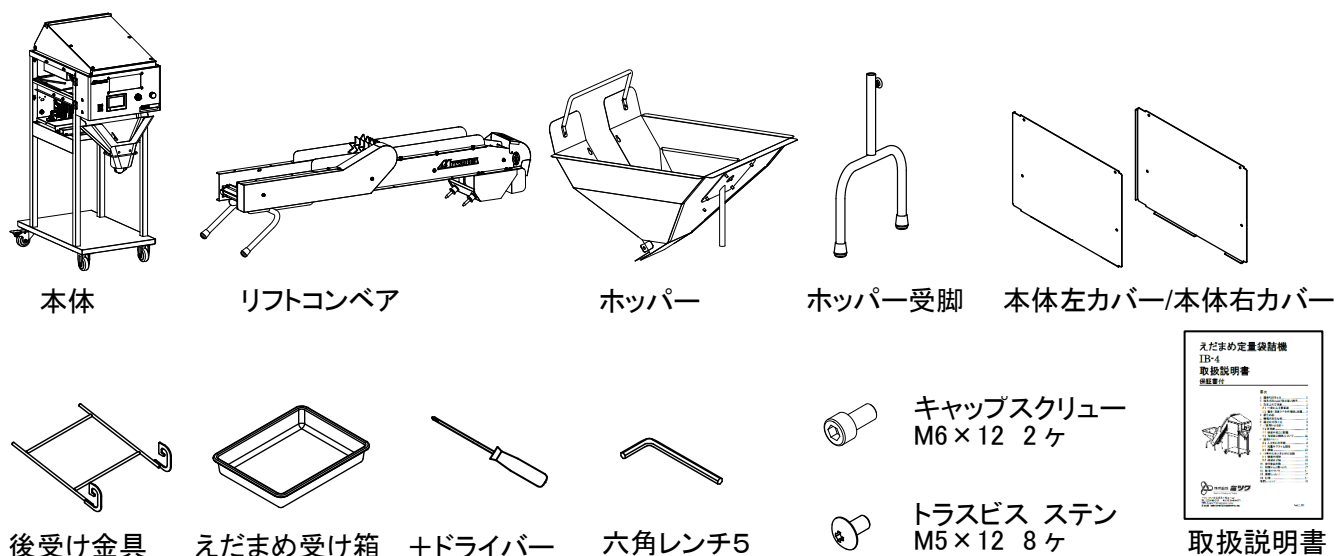
使用の前に必ず良く読んで理解し、お守りください。

また、ラベルがはがれたり、文字が消えて見えなくなったりした場合は、すぐに《ご購入の販売店》に連絡して新しいラベルに貼り替えてください。

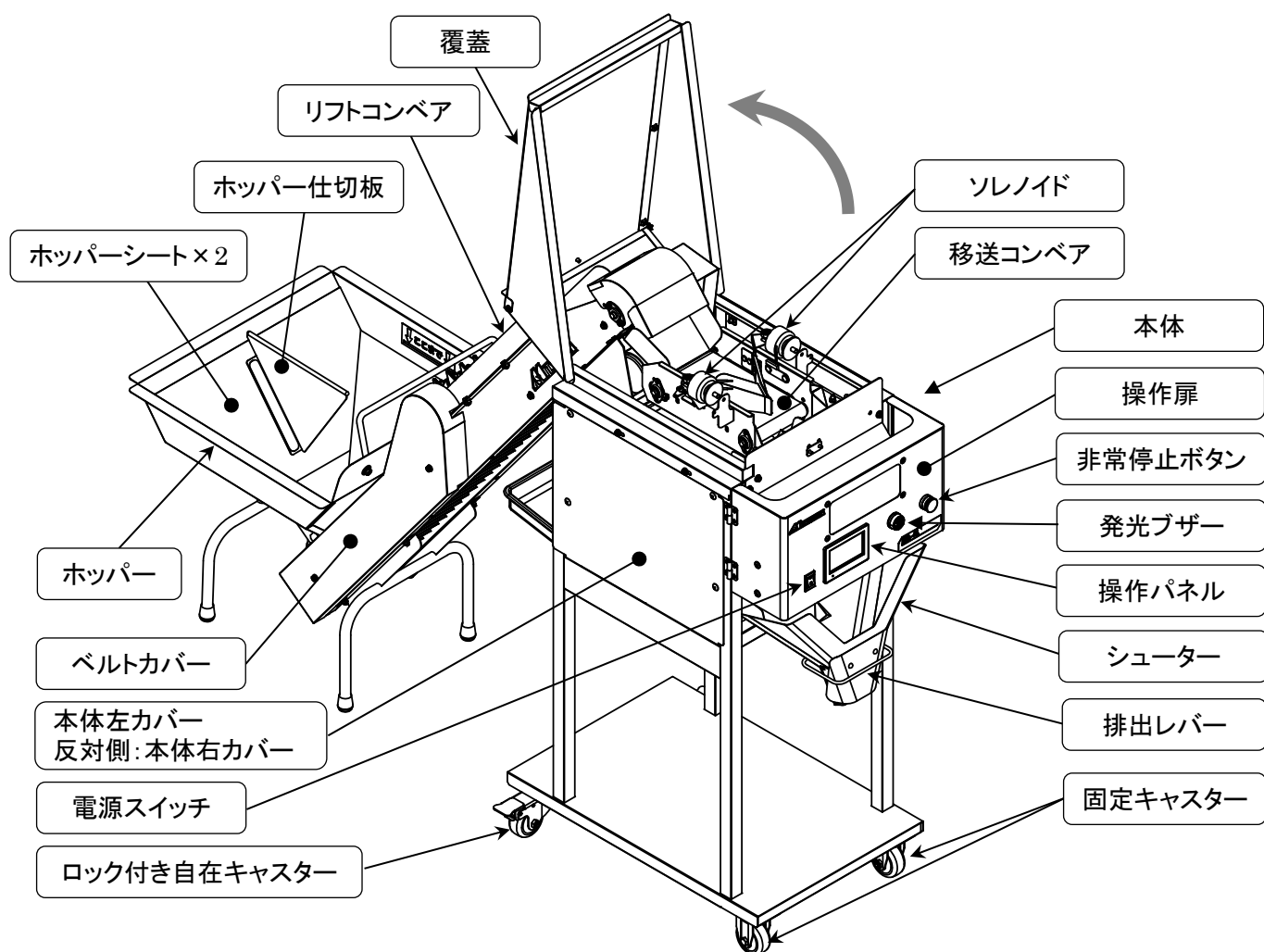


4. 梱包内容

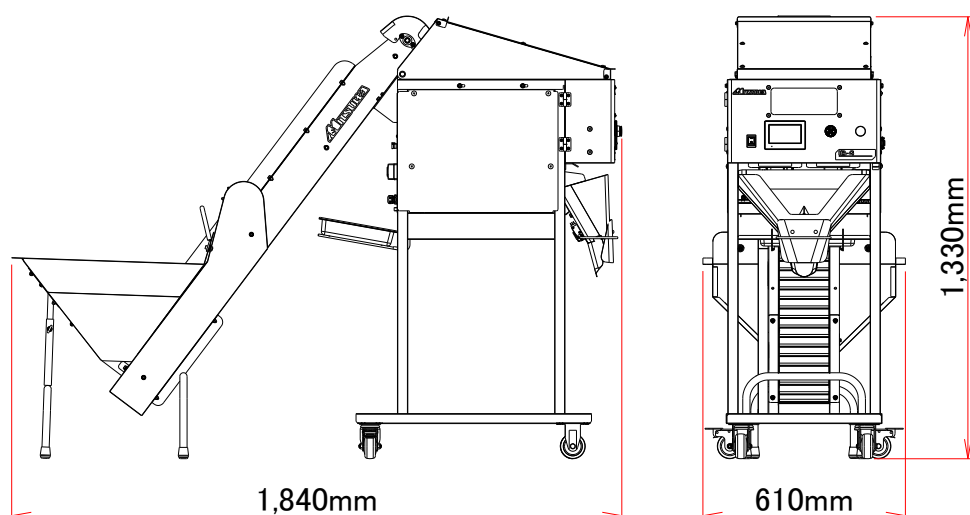
開封されましたら梱包品をご確認ください。万が一、梱包品の不足や不良がございましたら、お買い上げの販売店まで、ご連絡ください。



5. 機械の主な名称



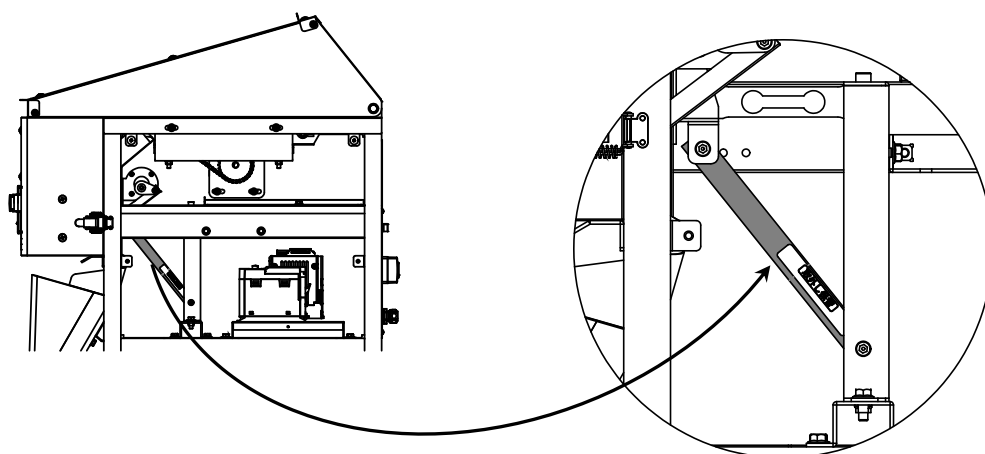
6. 機械の外形寸法



7. ご使用になる前に

7-1 前準備

輸送梱包で計量部を赤色の固定金具で固定してあります。(左右各1本)



1. 計量部の赤色の固定金具を取り外します。

赤い固定金具はキャップスクリュー2箇所固定してあるので、キャップスクリューを外し赤色の固定金具を外してください。

※固定金具は左右あります。

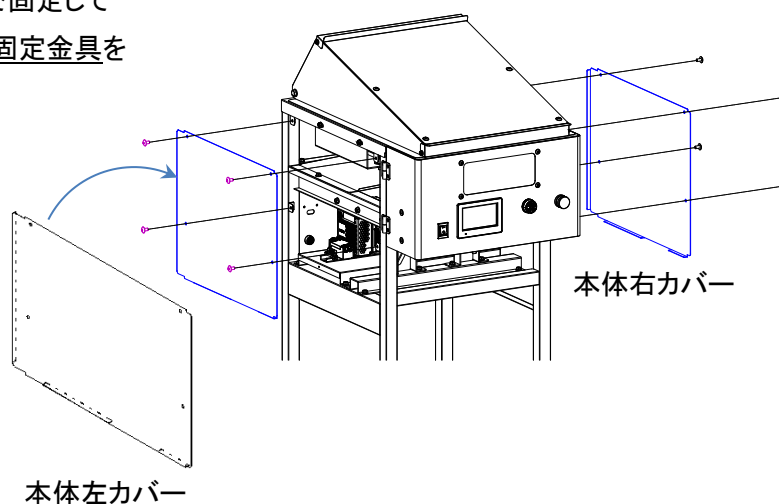
両方外して保管してください。

2. 本体左カバー/右カバーを取り付けます。

付属ネジ トラスビス M5×12 各4本でしっかり取付けてください。

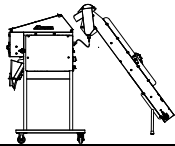
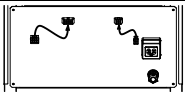
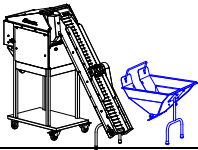
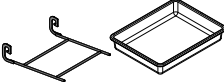
※向きに注意。折を内側にし、

穴位置を確認して取り付けてください。



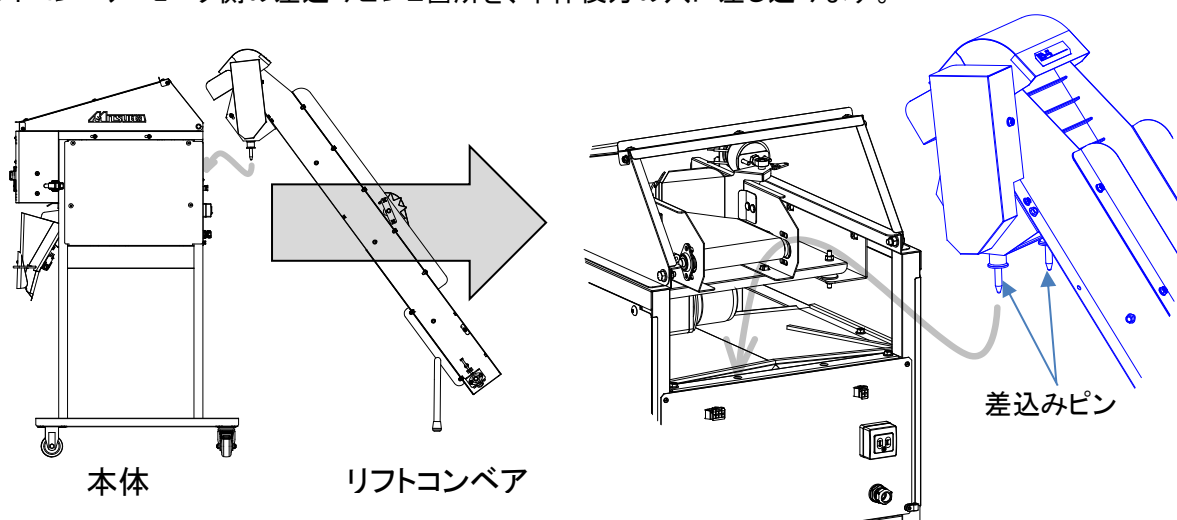
7-2 機械の組立と設置

設置場所は平らな場所を選び、以下の手順で組立・設置をしてください。

①	<ul style="list-style-type: none"> ・本体にリフトコンベアを取付けます。 リフトコンベアのモータ側に差込みのピン2箇所を、本体後方の穴に差し込みます。 	
②	<ul style="list-style-type: none"> ・リフトコンベアのコネクタを取付けます。 リフトコンベアモータのコネクタとセンサーのコネクタをそれぞれ取り付けます。 	
③	<ul style="list-style-type: none"> ・ホッパーにホッパー受脚を取付けます。 奥まで差込み、仮止めします。 	
④	<ul style="list-style-type: none"> ・リフトコンベアにホッパーを取付けます。 リフトコンベアに取付いているトラスビス2本を緩め、ホッパーの取付穴に差し入れます。 ホッパー下側の2箇所をキャップスクリューで取り付けます。 緩めてあるトラスビス2本を締めます。 ホッパー脚のボルトを緩め、脚を地につけボルトを締めます。 	
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・本体に後受け金具を取付けます。 本体後側に後受け金具を引っ掛けます。 後受け金具の上にえだまめ受け箱を置きます。 	

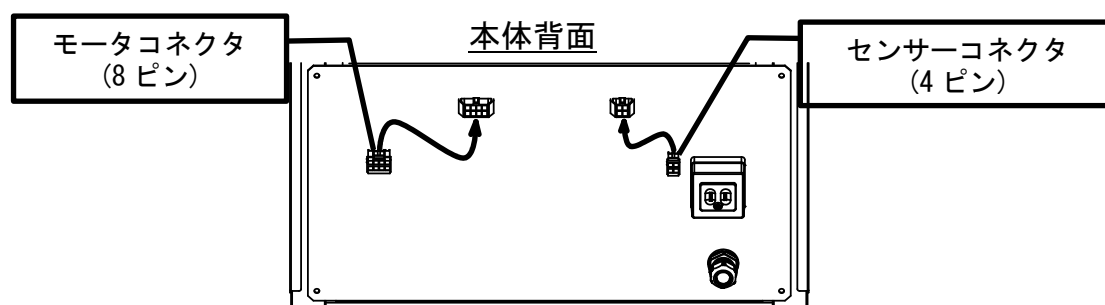
①リフトコンベア取付け

リフトコンベア モータ側の差込みピン2箇所を、本体後方の穴に差し込みます。

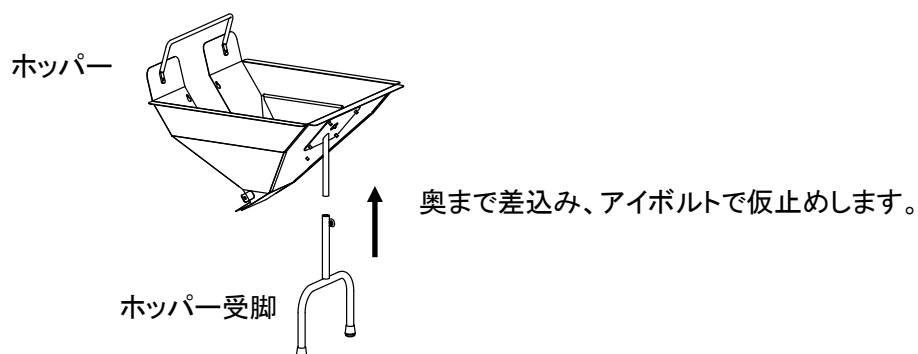


②リフトコンベアのコネクタ取付け

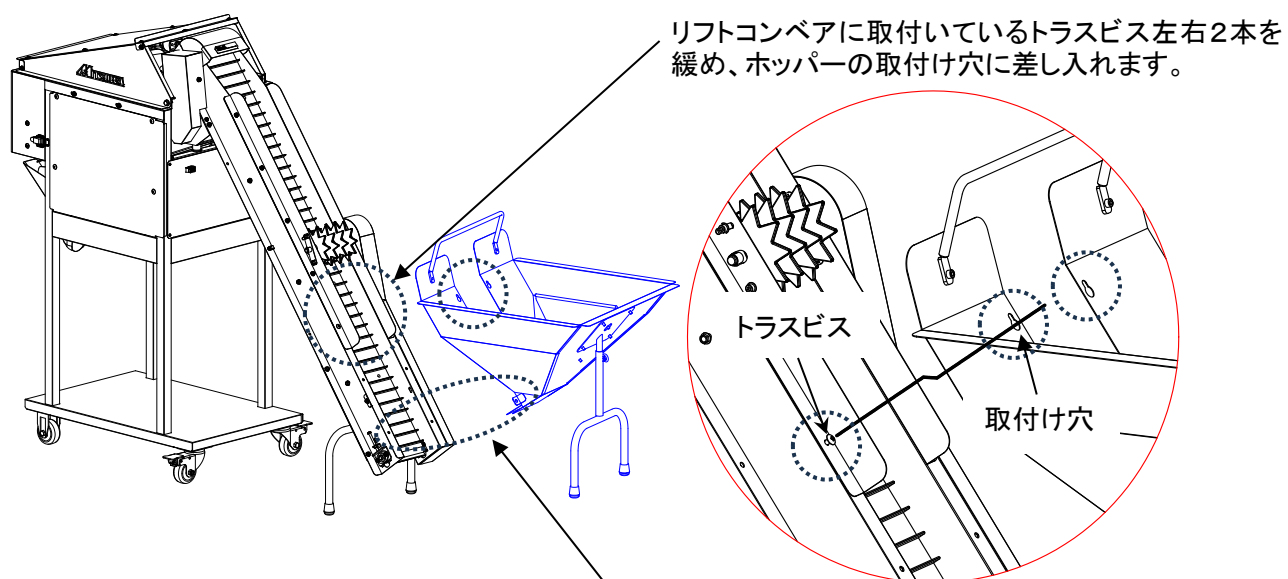
リフトコンベアモータのコネクタとセンサーのコネクタを、それぞれ向きを合せ取り付けます。



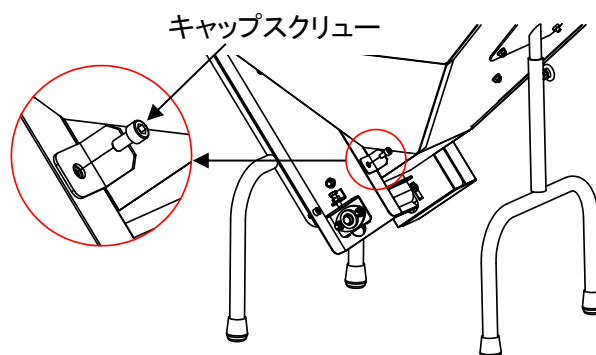
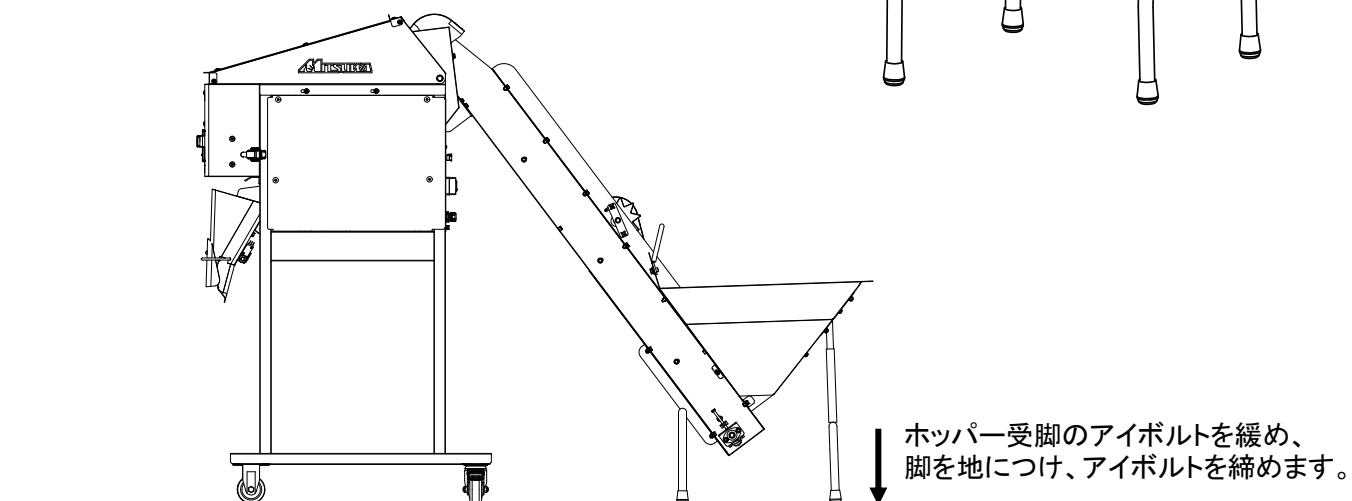
③ホッパー受脚の取付け



④ホッパーの取付け

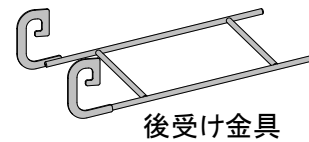
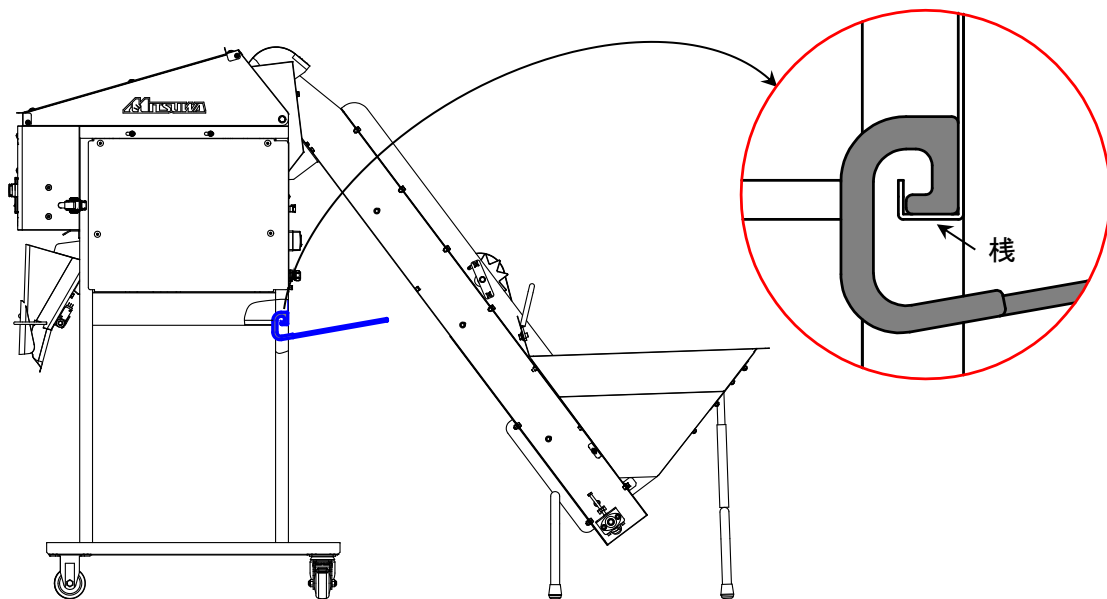


ホッパー下側の左右2箇所を、付属ネジキャップスクリューM6×12で取り付け、緩めてあるトラスビス左右2本を締めます。

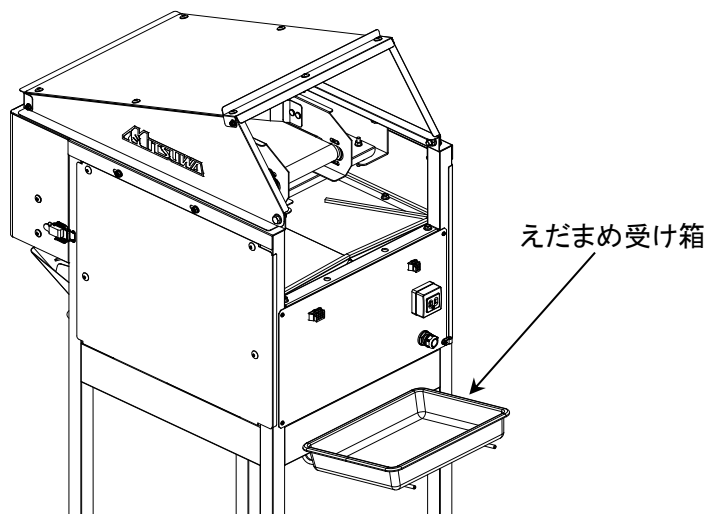


⑤ 本体に後受け金具の取付け

本体フレーム内側の棧に後受け金具を図のように引っ掛け、
リフトコンベアの真下になるように配置してください。



後受け金具の上に、えだまめ受け箱を置いてください。



注) 電源プラグを差し込み、必ずアース線を取付けてください。

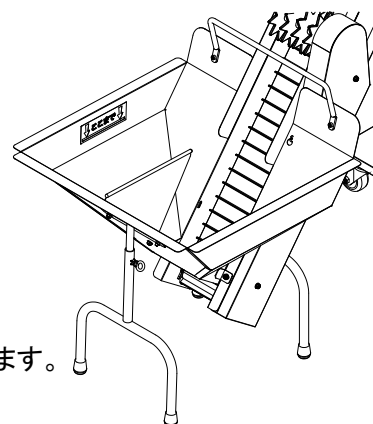
8. 使用について

はじめに、本機は取引・証明用のはかりとしては使用できません。
ご利用の際は、別途専用のはかりをご用意ください。

8-1 えだまめの準備

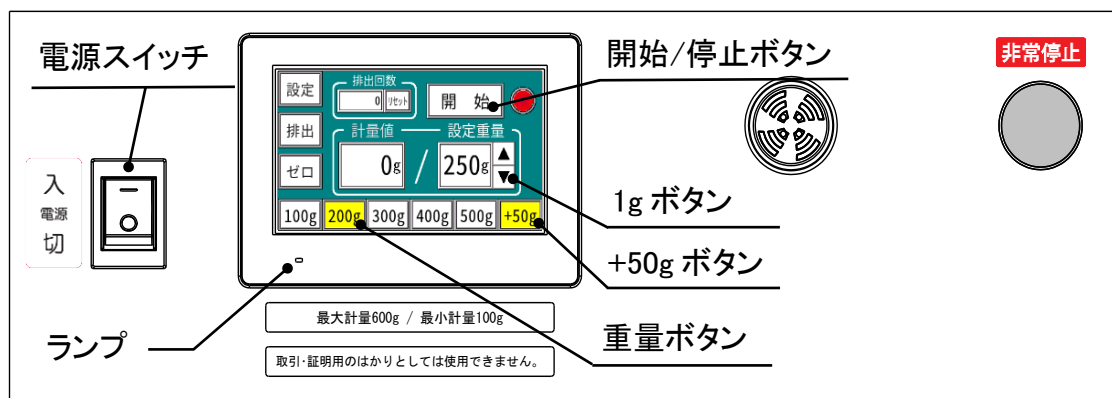
■えだまめをホッパーに入れる

1. 選別したえだまめを用意してください。
 - ・くず豆や連結莢(莢が繋がった状態)があると計測に誤差が生じます。
 - ・連結莢・莢割れ・奇形の莢は引っかかりや、つまりを起こし故障の原因となります。
2. 計量するえだまめをホッパーに**最大15kgまで**入れて準備します。
 - ・ホッパーに、**↓ここまで↓**のラインがあるので目安にしてください。
 - ・15kg以上入れると上手く搬送されなくなることがあります。
 - ・品種や状態によりホッパー内で流れが悪くなったり、詰まる場合があります。



※作業前に、異物混入を防ぐため機械回りや内部を確認し作業を行ってください。

8-2 定量のグラム設定



操作パネルのメイン画面(タイプ 1)

※数字はグラム値

えだまめを**袋詰めするグラム**を設定します。運転前に設定をしてください。**初期値は 300g**となっています。

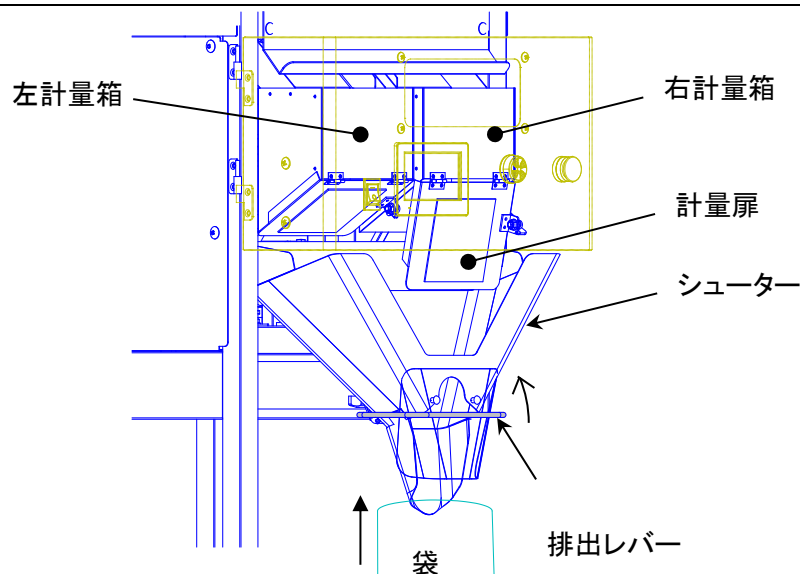
■グラム設定

①	電源スイッチを 入 にします。起動に 10 秒程度かかります(パネル左下のランプが点滅します) 起動すると操作パネルが表示され、計量箱扉が開き原点復帰動作を行います
②	操作パネルの下方にグラム値の重量ボタンがあるので好みの重量ボタンをタッチします
③	選ばれた重量が中央右に表示されます。隣の▲▼で 1 グラム単位の設定ができます(±25g) また、+50gをタッチすると設定重量を+50gします (もう一度+50g をタッチすると-50g され、元の設定値に戻ります) 例: 250g に設定したいときは、200g と+50g をタッチしてください(タッチしたボタンは、黄色になります)

8-3 運転

■基本動作

①	計量値の表示がゼロでない場合は、 ゼロ ボタンを押しゼロ点合わせを行う 操作パネルの 開始 ボタンを押すと、片方の計量箱にえだまめが入り、計量が始まります 定量になると、ピッ と音が鳴り、隣の計量箱に切り替わり、計量が始まります ※定量に満たない状態(空運転など)が 5 分続くと、安全のため動作が停止します 計量箱が左右とも計量完了状態になると、排出されるまで待機します ※計量完了状態になると、画面計量値表示部が黄色点滅します
②	シューターの出口に袋の口を差し入れ、排出レバーを上げ、えだまめを排出します
③	左右計量箱のどちらかが空になると計量動作が再開します



■自動排出運転

ホッパー内の残りのえだまめを全て排出したい場合、操作パネルの **開始** を長押しすると、計量箱扉が開いたままとなり、排出され続けます。

・ブザー音について

短音 1 回(ピッ) / LED 点滅 1 回	計量が完了し許容誤差範囲に収まった場合
短音 3 回(ピーピーピー) / LED 点滅 3 回	計量が完了し許容誤差範囲を超えた場合 ※誤差範囲は、設定の機能で変更できます。
長音 3 秒(ピー) 鳴り続く	ホッパー内のえだまめが空または少量の場合 ※設定機能で、ON/OFF の変更ができます。

■途中停止、運転・終了

運転中に停止ボタンを押すと一時停止します。再度稼働したい時は開始ボタンを押します。

停止後、電源スイッチの切で操作パネルの表示が消え終了になります。

⚠ 注意



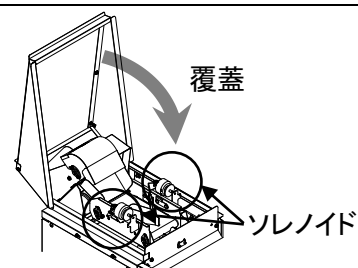
ソレノイドを触らない。

・運転中、運転停止直後は、ソレノイドが熱くなっています。触らないでください。



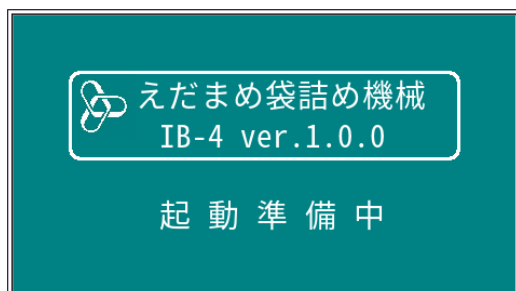
覆蓋を開けたままにしない。

・必要以外は覆蓋を閉じてください。事故のおそれや破損・故障の原因になります。



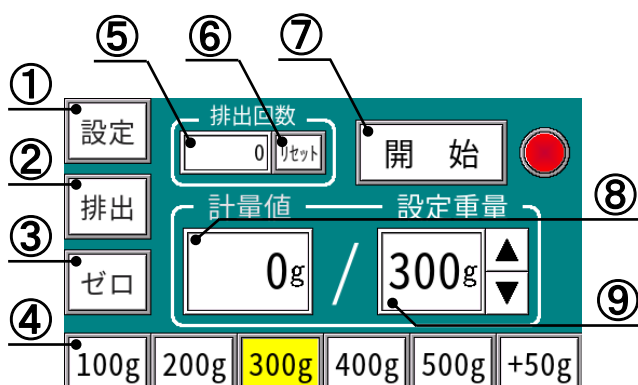
8-4 操作パネルの機能説明

起動画面



本体の電源スイッチを ON にしたときに最初に表示される画面です。この画面で現在のプログラムのバージョンを確認することができます。

メイン画面 タイプ1



①設定ボタン

各種設定メニューを表示します。

②排出ボタン

左右の計量箱扉を開きます。

③ゼロボタン

ゼロ点のリセットを行います。運転中は機能しません。停止状態で行ってください。

④重量ボタン

各重量ボタンを押すことで重量の設定を行えます。細かい調整を行う際は後述の⑨番で説明している微調整ボタンを使用してください

⑤排出回数表示部

えだまめの計量が完了したあと、排出レバーを使用して排出した回数をカウントします。②の排出ボタンを使用した場合はカウントされません。

⑥リセットボタン

1 秒以上長押しすることで排出回数の値をリセットします。

⑦開始/停止ボタン

停止中は開始ボタン、運転中は停止ボタンとして機能します。また、開始ボタンを 3 秒以上長押しすると計量箱の扉が開いたまま運転することが出来る“自動排出モード”となります。作業終了後、ホッパーの残りのえだまめを全て排出したいときなどにお使いください。

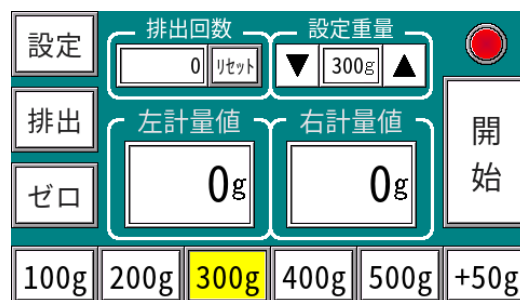
⑧計量値表示部

計量中の計量箱内の重量を表示します。

⑨設定重量表示部/微調整ボタン

設定中の重量を表示します。また、表示部横の上下ボタンで 1g 単位の微調整を行うことができます。(±25g)

メイン画面 タイプ2



メイン画面のタイプ 2 です。左右の計量箱の値を常に表示します。後述の機能設定画面 1 でタイプ 1 とタイプ 2 を変更できます。

非常停止画面

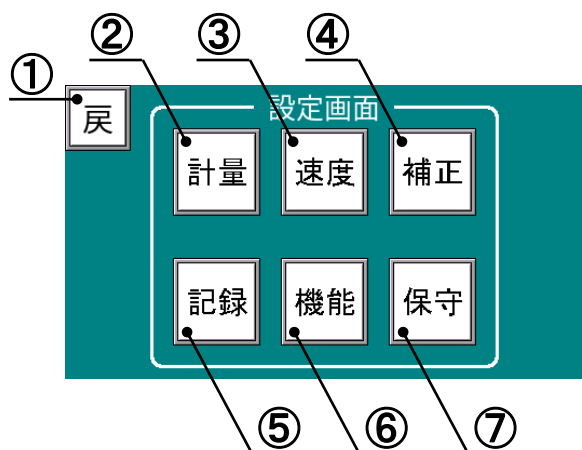


非常停止ボタンが押されると非常停止状態となります。運転中であれば停止し、この画面が表示されます。計量途中に非常停止状態となっても解除したあと続きから計量が可能です。

①解除ボタン

押すことでメイン画面に戻ります。

設定画面



①戻るボタン

前の画面に戻ります。

②計量ボタン

計量関係の設定画面を表示します。

③速度ボタン

速度関係の設定画面を表示します。

④補正ボタン

計量値の補正設定画面を表示します。

⑤記録ボタン

計量履歴等を表示します。

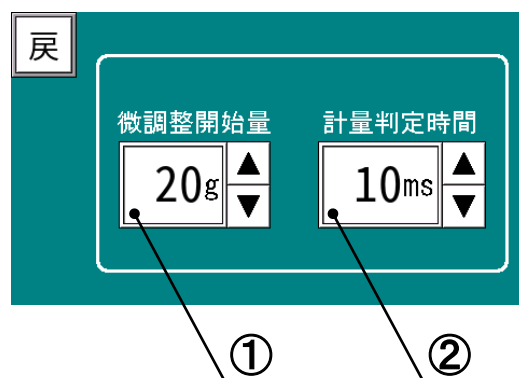
⑥機能ボタン

その他機能の設定画面を表示します。

⑦保守ボタン

保守動作等の操作画面を表示します。

計量設定画面



①微調整開始量

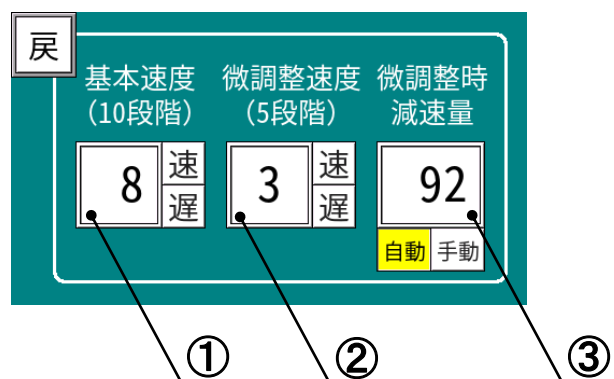
設定重量まで残り何 g になったら微調整動作を開始するかを設定できます。

例：設定重量を 300g、微調整開始量を 130g と設定した場合、計量値が 170g を超えた時点から微調整動作を行います。

②計量判定時間

計量値が設定重量に達した際に、それが瞬間的なものでないかを判定するための時間を設定できます。

速度設定画面



①基本速度

リフトコンベアの色を設定できます。

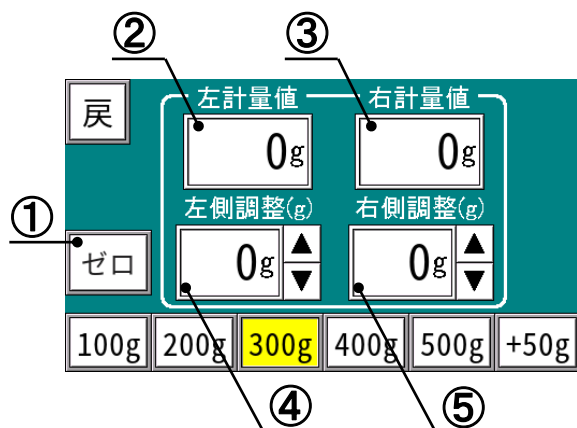
②微調整速度

微調整時の速度を設定できます。

③微調整時減速量

微調整時の最低速度までの減速量を設定できます。通常は基本速度の設定に応じて自動で調整されますが、下部ボタンで手動に切り替えることで任意の値にすることも可能です。

補正設定画面



①ゼロボタン

ゼロ点のリセットを行います。運転中は機能しません。停止状態で行ってください。

②③左/右計量値

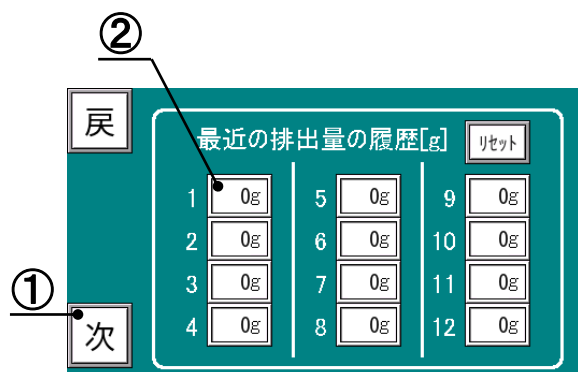
左右の計量箱の計量値を表示します。

④⑤左/右側調整

左右の計量値の表示を設定数値分、増減させます。排出したえだまめを別のはかりで計量したときに値が異なる場合に使用してください。

調整方法: 別のはかりで任意の物を計量してください (えだまめ 300g 分など)。その計量値に最も近い重量ボタンを押してください。本体の左側の計量箱に計量した物を入れてください。左計量値が別のはかりで計量したときの値と同じになるよう左側調整ボタンで調整してください。右側も同様に行ってください。

記録画面1



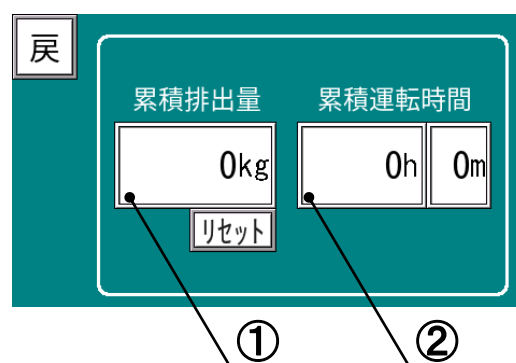
①次ボタン

項目の次ページを表示します。

②最近の排出量の履歴

過去 12 件までの排出量の履歴を表示します。リセットボタンを 1 秒以上長押しすると値をリセットすることができます。

記録画面2



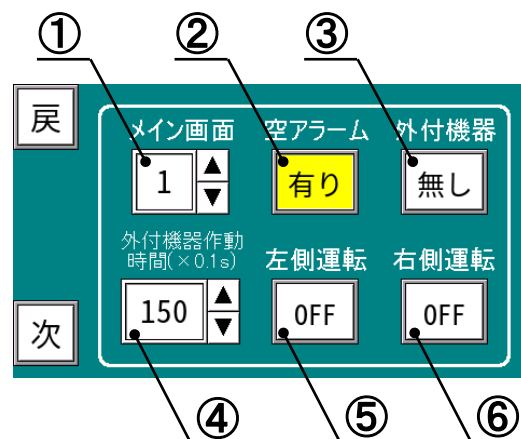
①累積排出量

これまでの累積排出量を表示します。リセットボタンを 1 秒以上長押しすると値をリセットすることができます。

②累積運転時間

これまでの運転状態の累積時間を表示します。停止中はカウントされません。この値をリセットすることはできません。

機能設定画面1



①メイン画面

使用するメイン画面を変更できます。(2 タイプ)

②空アラーム

ホッパーが空になった時のお知らせアラームの有リ/無しを切り替えることができます。

③外付機器

背面のコンセントに繋いで使用する機器の有リ/無しを切り替えることができます。

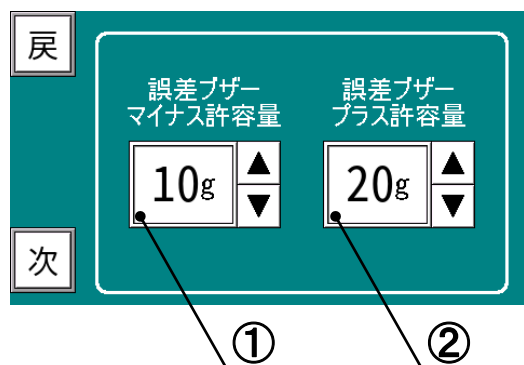
④外付機器作動時間(×0.1s)

外付機器の 1 回の作動時間を設定できます。

⑤⑥左/右側運転

片側の計量箱のみで運転ができます。どちらかが故障した際の応急対応として使用してください。

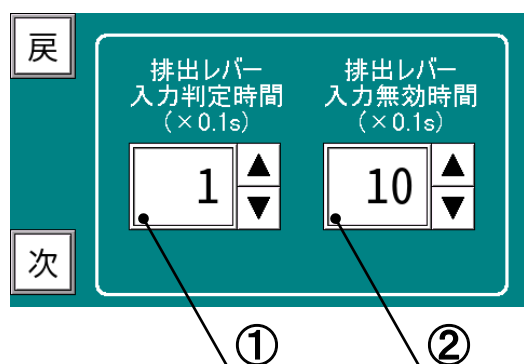
機能設定画面2



①②誤差ブザーマイナス/プラス許容量

設定重量と計量値の差が一定以上の時に鳴る誤差ブザーの鳴らさない範囲を設定できます。

機能設定画面3



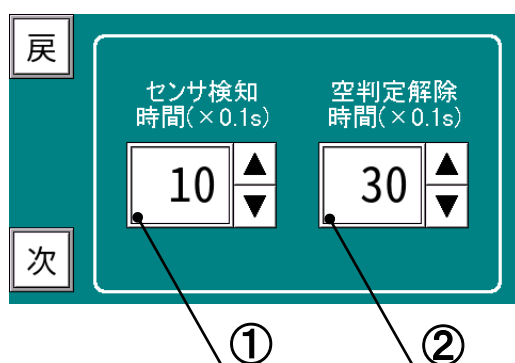
①排出レバー入力判定時間

排出レバーの ON 判定時間を設定できます。
排出レバーの感度が高すぎると感じたときはこの値を大きくしてください

②排出レバー入力無効時間

排出レバーが ON してから再び ON できるようになるまでの時間を設定できます。誤って排出レバーを連続して ON にしてしまった際に続けて排出されてしまうのを防ぐ機能です。

機能設定画面4



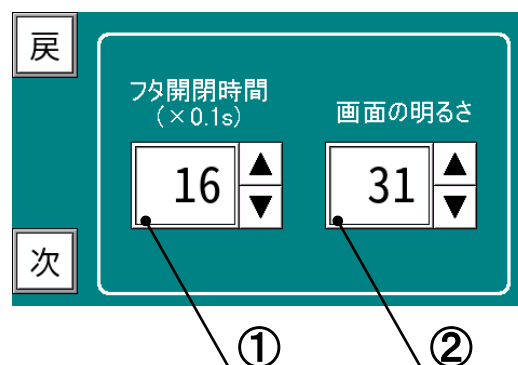
①センサ検知時間(×0.1s)

ホッパーが空になったとセンサが判定するまでの時間を設定できます。

②空判定解除時間(×0.1s)

ホッパー内に枝豆が補充されたと判定するまでの時間を設定できます。

機能設定画面5



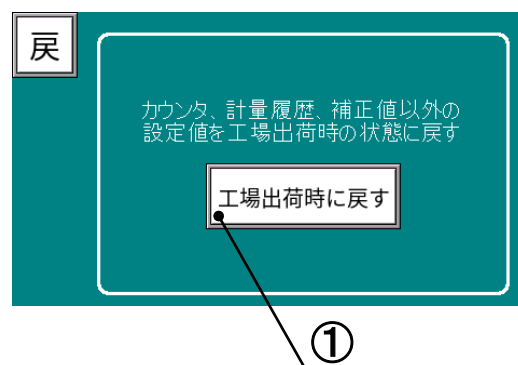
①フタ開閉時間(×0.1s)

計量箱のフタの開け始めから閉じ始めまでの時間を設定できます。

②画面の明るさ

画面の明るさを設定できます。

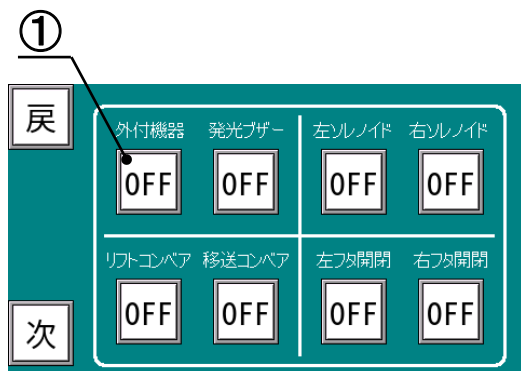
機能設定画面6



①工場出荷時に戻すボタン

3秒以上長押しすることで、各カウンタ(排出回数、累積排出量、累積運転時間)、計量履歴、計量箱の補正值を除いて工場出荷時の設定値に戻します。

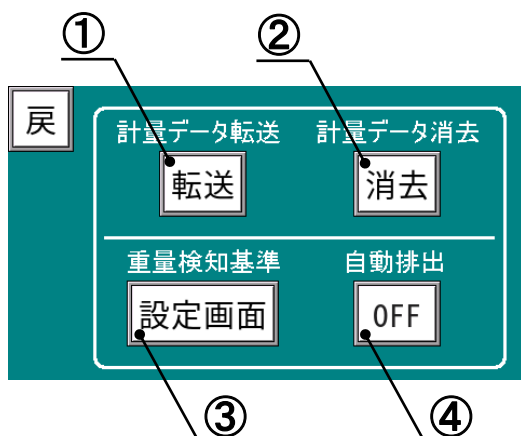
保守設定画面1



①各機能 ON/OFF ボタン

各機能を単独で動作させることができます。
電源 OFF 時に状態はリセットされます。

保守設定画面2



①計量データ転送ボタン

表示器内部の計量データを USB に転送します。

②計量データ消去ボタン

1 秒以上長押しすると表示器内部の計量データを消去します。

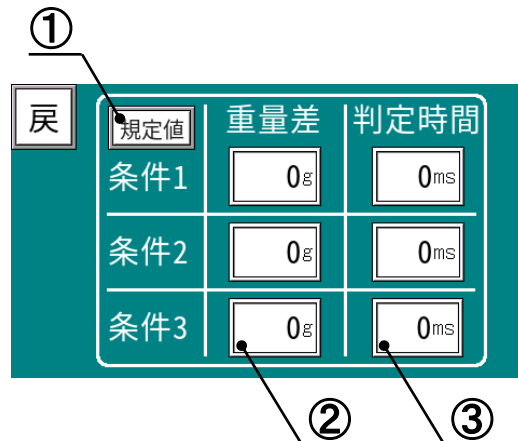
③重量検知基準 設定画面ボタン

重量検知基準の設定画面を表示します。

④自動運転

ON にすると、運転中に計量が完了したとき、排出レバーを押さなくとも一定時間で排出されるようになります。通常は使用せず、動作確認などで使用します。

重量検知基準設定画面



衝撃荷重による計量値の瞬間的な変動による誤差を緩和するための設定です。設定重量と計量設定画面の計量判定時間に追加する形で3つまで条件を設定できます。

(3つ全てで設定した場合、計4つの条件のいずれかに該当したときに計量完了と判定します)

①規定値ボタン

重量検知基準の設定値を工場出荷時の値に戻します。

②重量差

設定重量との差が何 g になったときに判定を行うかを設定できます。

③判定時間

計量値が設定された重量となったと判定する時間を設定できます。

9. 日常のお手入れおよび点検

⚠ 注意



点検の際には電源プラグを必ずコンセントから抜いて作業する。

・電源プラグを差したまま作業を行なうと、不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

9-1 機械の掃除

- ・電源プラグをコンセントから必ず抜いておいてください。
- ・袋詰め時に古いえだまめの混入を防ぐため、ホッパー内部、リフトコンベア、移送コンベア、計量箱、シューター内部の隅や陰に、古いえだまめが残っていないか確認し取り除いてください。
- ・ホッパー内部、リフトコンベア、移送コンベア、計量箱/シューター内部の汚れ(毛・屑)をエアガン・ブラシ・布等で取り除き、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・機内の隅や陰にえだまめが残っていると、ネズミが入って電気配線の損傷、錆の発生の原因となりますので注意してください。
- ・水分が付着し濡れたままにせず機械を《乾燥状態》にしておいてください。
- ・エアガンを使用する際は水分をできるだけふき取ってから使用してください。

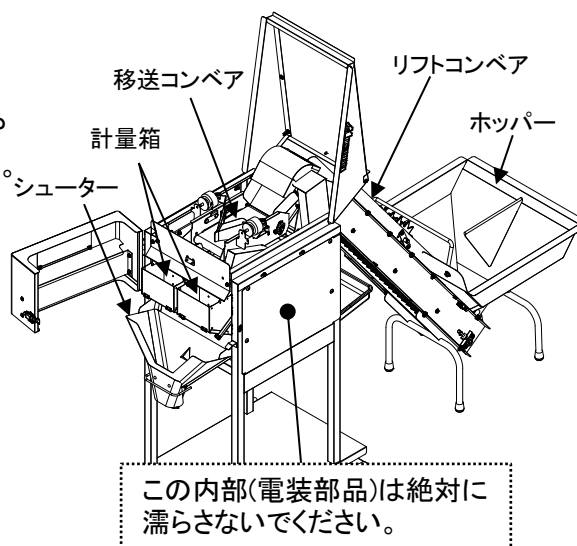
思わぬところに水滴が飛び電装系の故障の原因となります。

※ホッパー内側及びホッパーシートのえだまめの灰汁を、拭き取り常にきれいにしてください。

汚れがえだまめの流れを悪くし、つまりの原因となります。またホッパーシートは2枚重ねです。

清掃時は下のホッパーシートの口先も汚れを落としてください。

※シューター内を常にきれいにしてください。えだまめの灰汁汚れがえだまめの流動性を悪くします。



9-2 機械の点検

下記項目を重点的に確認し、正常に使用できるようにしてください。

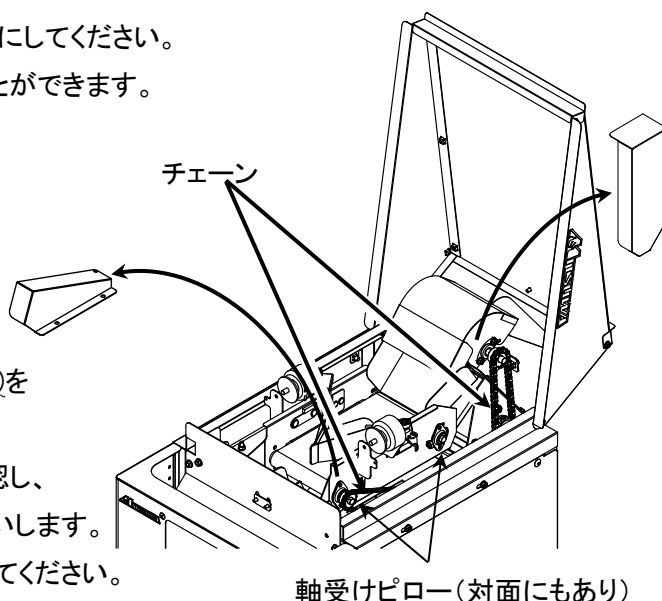
正しく点検・整備を行うことで機械を長持ちさせることができます。

- ・機体内部に、えだまめ・毛・屑・水濡れはないか？
- ・リフトコンベア ベルトの緩み・偏りはないか？
- ・移送コンベア ベルトの緩み・偏りはないか？
- ・計量の値に狂いはないか？
- ・各部のネジにゆるみがないか？

※出荷時はチェーン2箇所に食品機械用グリス(白)を塗布しています。

シーズン前に各カバーを外しグリスの状態を確認し、必要に応じ食品機械用グリス(白)の塗布をお願いします。

※軸受けピロー4箇所に食品機械潤滑油を塗布してください。



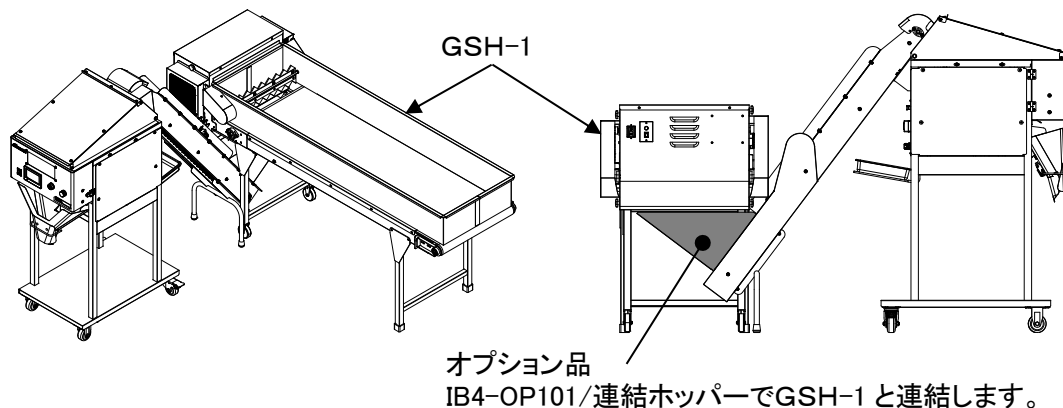
10. 外付け機器について

この製品は、外付け機器(供給ホッパー、コンベア等)と接続して使用することができます。

IB-4 本体と接続することにより、えだまめが少なくなると自動的に動作して、えだまめを供給します。

組合せ参考例:ミツワ製品 GSH-1/えだまめ供給ホッパーとの組合せ

(別途下記オプション品をお買い求めください)



11. 主な部品交換

- ・下記消耗部品、擦り減り摩耗の場合は交換してください。制御ロータリーゴム(4ヶ)・オイルス(2ヶ)
- 交換はお買い上げの販売店へお問い合わせください。

品番	品名	
IB3-A121	制御ロータリーゴム	
LFF-1215	オイルスドライメット LF ブッシュ	
IB4-A406	シューターシート	

12. 故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行ってください。

症状	原因	対処方法
電源スイッチを ON にしてもパネルが表示されない。	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源コードが途中で切れて破損または、断線していませんか。	製品のご使用を止め、ご購入の販売店にご相談ください。
	電源延長コードが細く長く電圧が低下していませんか。	電源コンセントから太く・短い延長コードを使用してください。
計量値がおかしい。	計量部の誤動作。	電源を一度切り入れ直してください。
	計量箱の間に、えだまめがはさまっている。	操作扉を開き、はさまった えだまめを取り除いてください。
	計量箱に、えだまめが引っかかっている。またははさまっている。	引っかかり・はさまったえだまめを取り除いてください。

13. 修理について

本機がもし、正常に動作しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などについても、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

14. 廃棄について

製品を廃棄するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に準拠し、必ず専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理をしてください。

15. 仕様

名 称	えだまめ定量袋詰機
型 式	IB-4
寸法(使用時)	全長 1,840×全幅 610×全高 1,330mm
重 量	85kg
電 源	単相 100V 200W
能 率	～160kg/毎時（1 袋 250gの場合）

保証について

本製品は、下記無償修理規定の内容に従って保証されています。保証書にお買い上げ日、販売店名の記入をご確認ください。記入がされていない場合は、無効となります。また、保証期間内の修理をお申し込みされる際に必要となりますので、保証書を大切に保管してください。

無償修理規定

- 保証期間内において、本取扱説明書に従った正常な使用状態のもとで、故障が発生した場合は、故障発生後1ヶ月以内に申し出があり、弊社がこれを認めた場合に無償で修理を致します。
- 保証期間は、製品を納入致しました日から起算して1年で、これを超えた場合は有償となります。
- 保証の範囲は、製品のみとし、製品の故障により誘発される損害は、補償外となります。
- 保証期間内とはいえども、下記の場合は保証致しません。
 - 取扱説明書に示す正しい取り扱い方法によらない使い方、過失及び整備保管の不十分によって生じたと認められる故障の場合。
 - 天災、地変、火災等の不可抗力の事故によって生じたと認められる故障の場合。
 - 製品の機能に影響があると認められる改造変更が加えられた場合、弊社の純正部品以外の部品を使用した場合、弊社が規定する仕様の限界を超えて使用したため生じたと認められた故障の場合。
 - 消耗品、及び附属品。
 - 弊社指定のミツワ製品取扱店以外で修理した場合。
 - 要求の損傷部品を返却されない場合。
 - 保証書の提示のない場合、保証書の必要事項に記載がされていない場合、保証書の字句を不当に書き換えられた場合は、有償になります。
- 保証書を紛失した場合、再発行は致しません。
- 本保証は、日本国内においてのみ有効となります。
- 本機の耐用年数(償却年数)は、8年です。耐用年数の過ぎたものは、補修部品の供給を終了させていただきますので、修理が出来なくなる場合があります。

----- ✂キリトリ線 -----

保証書

製品名 IB-4		販売店名・住所・電話番号	
保証期間(お買い上げ日より) 1年間		お買い上げ日 ____年__月__日	
お 客 様	お名前 _____ 様 ご住所 〒 _____		
	電話番号(____) _____		

本書は、お買い上げ日から左記保証期間中に故障が発生した場合に、当社保証規定に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。



株式会社 ミツワ
Mind and Technology for Working

〒959-0112 新潟県燕市熊森 1345
TEL 0256-98-6161 FAX 0256-98-6171